

NEWS RELEASE

美しい花々とともに、古き時代への憧れを感じる
「特別企画展 花を愛でる 古きを尊ぶ」を開催します
—12～20 世紀の東アジア諸国の絵画や書籍 44 件を展示—

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、2026 年 7 月 16 日（木）から 8 月 23 日（日）まで、「特別企画展 花を愛でる 古きを尊ぶ」を開催いたします。

中国では古くから、四季おりおりの花木におめでたい意味（吉祥）や理想の人間像を重ねて、多彩な絵画や工芸を生み出しました。それは広く東アジアに伝わり、それぞれの国で豊かに発展しました。19～20 世紀には、古代の青銅器や石などに残された文字を研究する「金石学」という学問と結びつき、「花博古図」という特殊な絵画が生まれました。

本展観では、中国、日本、朝鮮半島、琉球といった東アジアの様々な花木をモチーフとする作品、古きを尊ぶ「博古趣味」を窺わせる作品など、44 件を展示します。

詳細は別紙の通りです。



博古花卉図軸（二幅対）高野侯筆
中華民国・民国 18 年（1929）
兵庫県立美術館蔵（梅舒適コレクション）



重要文化財 蜀葵遊猫図・萱草遊狗図 伝毛益筆
中国・南宋時代（12 世紀） 大和文華館蔵



花鳥図 山口宗季（呉師虔）筆
琉球・第二尚氏時代 康熙 54 年（1715）
大和文華館蔵

別紙

<1> 展覧会詳細について

1. 名称 特別企画展 花を愛でる 古きを尊ぶ
2. 会期 2026年7月16日(木)～8月23日(日) ※会期中、一部展示替えあり
3. 休館日 月曜日(ただし7月20日〈祝〉は開館し、翌21日〈火〉が休館)
4. 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
5. 入館料 一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
6. 出陳品数 44件

*主な展示作品

【第一章 花を愛でる】

- ・重要文化財 蜀葵遊猫図・萱草遊狗図 伝毛益筆 中国・南宋時代(12世紀) 大和文華館蔵
- ・花鳥図 中国・明時代(16世紀) 大和文華館蔵
- ・唐絵手鑑 伝狩野安信筆 日本・江戸時代前期(17世紀) 大和文華館蔵
- ・花鳥図 山口宗季(呉師虔)筆 琉球・第二尚氏時代 康熙54年(1715) 大和文華館蔵

【第二章 古きを尊ぶ】

- ・花鳥図冊 丁敬筆 清・乾隆30年(1765) 大和文華館蔵
- ・篆書七言聯 羅振玉筆 清～民国時代(20世紀) 兵庫県立美術館蔵(梅舒適コレクション)
- ・博古拓識語軸 潘祖蔭筆 清・光緒2年(1876) 兵庫県立美術館蔵(梅舒適コレクション)

【第三章 花を愛でる 古きを尊ぶー《特集展示》「花博古図」の世界ー】

- ・吉金延壽図(四幅対) 呉重熹筆 清・光緒22年(1896) 公益財団法人依水園・寧楽美術館蔵 ※《春・夏幅》2026年7月16日(木)～8月2日(日)展示、《秋・冬幅》2026年8月4日(火)～23日(日)展示
- ・歳朝図 富岡鉄斎筆 日本・大正11年(1922) 大和文華館蔵
- ・博古花卉図軸(二幅対) 高野侯筆 中華民国・民国18年(1929) 兵庫県立美術館蔵(梅舒適コレクション)

＜２＞ 会期中のイベントについて

1. 特別講演「花博古：近代中国における古器と書画の鑑賞について」
（１）日時・場所 7月26日（日）午後2時から講堂にて
（２）講師 京都大学人文科学研究所准教授 呉孟晋氏
2. 日曜美術講座「東アジアの花卉図と古への想い」
（１）日時・場所 8月2日（日）午後2時から講堂にて
（２）講師 大和文華館 学芸部係長 都甲さやか
3. 列品解説
（１）日時・場所 毎週土曜日 午後2時から展示場にて
（２）解説 大和文華館 学芸部
4. 講座美術の窓 連続講座「江戸後期の浮世絵」第2回「歌川国貞・・・幕末浮世絵界の覇者」
（１）日時・場所 7月19日（日）午後2時から講堂にて
（２）講師 当館館長 浅野秀剛
5. 無料招待デー 8月6日（木）・7日（金）

※何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

※講堂の定員は100名です。（当日先着順。予約不要）

以 上